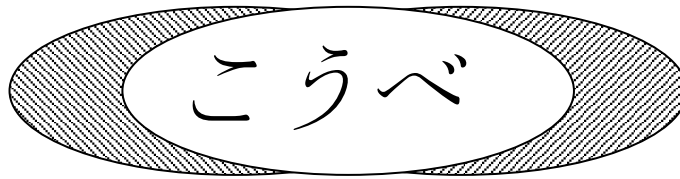


令和2年度



令和3年1月6日

1月号

神戸市立こうべ小学校

学校だより

何となく、今年はよい事あるごとし

元日の朝、晴れて風なし (石川啄木)

あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には良いお年をお迎えのことと思います。でもコロナ禍の中、今まで通りのお正月とは、ならなかったかもしれません。

2021年、コロナウイルスは、まだ消えません。私たちは、そんな不安の中で生きていく必要があります。いろいろと変わる時、まさに学校も転換期になっていくかもしれません。コロナ社会の中で、私たちの考え方は、二つに分かれることが多いかもしれません。でも、二極化の流れは、悪いことばかりではないかもしれません。N極とS極があって、力は上に向かう電磁力（フレミングの法則）みたいなイメージで、2つの力を基に、新しい力が生まれるとも思います。

学校は子供のことを中心に考え、前年、コロナの中でもがんばって計画し、できたことは今年も実行していきたいと思えます。学校の果たすべきこと、それはまさに子供たちの笑顔が、たくさん見られるようにすることです。勉強がわかるようになった笑顔、友達に認められた笑顔などなど、学校が夢と希望に満ち溢れた笑顔でいっぱいになることが大切です。それが、子供たちの成長の証になると考えています。今年も子供たちの笑顔あふれるこうべ小学校でありたいと思えます。

この新しい年が、子供たちにとって、良き1年になりますよう教職員一同、努力していきます。保護者の皆様、地域の皆様、今年も皆様からのより一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

うたう

みずかみ かよ

水仙は
りんとしている

はりつめた寒気を
北風のするどい剣がきりさく

朝もやのなか
水仙は
まっすぐ背すじをのばして
うたう

黄色のおしべは
ひなのくちばし
いっせいに大きくひらいて
のびやかにうたう
うたのなかからたちのぼる香気
なんとまばゆい一月

(校長 中田 宗義)